JFA 第50回全日本U-12サッカー選手権大会沖縄県大会
【　大　会　要　項　(案)】

1 趣旨　本大会は、青少年のスポーツ環境作りと健全育成を基盤にサッカー競技力の向上と技術向上を目的とするものである。

2 名称　JFA 第50回全日本U-12サッカー選手権大会沖縄県大会

3 主催　（公財）日本サッカー協会　（公財）日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
読売新聞社　琉球新報社(共催)　（一社）沖縄県サッカー協会

4 主管　（一社）沖縄県サッカー協会４種委員会

5 後援　日本テレビ放送網　報知新聞社　沖縄テレビ放送　沖縄県　（公財）沖縄県スポーツ協会

6 特別協賛　–

7 協賛　ＹＫＫ　花王　日清オイリオグループ　ゼビオ　日本マクドナルド　ビックカメラ

8 協力　–

9 大会期日
【1・2回戦】　2026年 10月17日（土）18日（日）（本島各地区）
9月19日（土）20日（日）（宮古地区）
9月20日（日）（八重山地区）
【ラウンド64・ラウンド32】　2026年 10月24日（土）25日（日）
【ラウンド16・準々決勝】　2026年 10月31日（土）
【準決勝・決勝】　2026年 11月1日（日）
【予備日】　2026年 11月3日（火）
※1・2回戦は各チーム 10月17日（土）18日（日）いずれか1日の日程となる。
※ラウンド64・32は各チーム 10月24日（土）25日（日）いずれか1日の日程となる。
※日程は学校行事、地理的事情等を考慮し、4種委員会で決定する。
※上記以外の期日で開催する場合、当該チームと協議の上、決定する。
【参加申込期限】　2026年 10月5日（月）17:00　（KICKOFF選手・役員登録完了期限）
【代表者会議】　2026年 10月14日（水）20:00　ZoomによるWeb会議
【開会式】　行わない
【閉会式】　2026年 11月1日（日）14:20　決勝戦会場で実施（優勝～第4位チームが参加）

10 大会会場　糸満西崎陸上競技場・名護市21世紀の森公園サッカー場・金武町フットボールセンター・沖縄県総合運動公園蹴球場
具志川多種目球技場・南城市陸上競技場・与那城陸上競技場・伊良部カントリーパーク陸上競技場・サッカーパークあかんま

11 参加資格
① 「参加チーム」は、大会実施年度に（公財）日本サッカー協会（以下JFAとする。）「第4種」の種別で加盟登録を行ったチーム（以下、加盟チームとする）であること。
② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
③ 「参加選手」は、小学6年生以下であること。
④ 選手は2026年度スポーツ保険に加入していること。
⑤ 同一加盟チームで複数チームの参加を認める。ただし選手登録以降の選手の組替えは認めない。
⑥ 各地区開催のJFA U-12サッカーリーグ2026に参加しているチームであること。
⑦ 県大会期間中、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。

12 参加チーム　参加チームは、参加資格を満たす、参加希望チームとする。チーム数に上限は設定しない。

13 大会形式　ノックアウト方式にて優勝以下第4位までを決定する。
（3位決定戦は行わない。優勝チームに準決勝で敗戦したチームを第3位とする。）

14 組合せ　① 組合せは4種委員会により抽選を行い、代表者会議にて公開される。

② JFA U-12サッカーリーグ2026（トップリーグ、1部リーグ）全チーム、およびJFA U-12サッカーリーグ2026（地区リーグ）上位チームを『シード』とし、ラウンド64からの参加とする。また、参加チーム数により組み合わせに不都合が生じる場合、別途、本部（4種委員会）が『シード』チームを設定することとする。

③ 宮古・八重山地区はシード対象から除外する。ただし、宮古・八重山地区にて1・2回戦を実施する場合において、ラウンド64からの組み合わせに組み入れる。（希望チームは1・2回戦から参加可とする）

15 競技規則　大会実施前年度のJFA「サッカー競技規則」およびJFA「8人制サッカー競技規則」による。

但し、細則については、4種用として競技会規定を定める。決定は 4 種委員会の内容による。

16 競技会規定　以下の項目については、本大会の規定を定める。

① 競技のフィールド

フィールドサイズ ：　固定しない（縦60～68m、横40～50m程度)

※但し、フィールドサイズは、68m×50mの大きさを推奨する。

ペナルティエリア：　ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ12m、その地点からゴールラインに直角12m

ゴールエリア：　ゴールライン上、ゴールポスト内側よりタッチライン方向へ4m、その地点からゴールラインに直角4m

センターサークルの半径：　7m

ペナルティアークの半径：　7m

ペナルティマーク：　8m

ゴールの大きさ：　ゴールの内のり 縦2.15m×横5m（少年用）（丸型、角型、簡易用ゴールも可とする。）

② ボール

アディダス（株）社製の（コネクト26 キッズ 4号球 : ADF430）とする。空気圧は0.8気圧とする。

また、準決勝および決勝はマルチボールシステムを採用する。

③ 競技者の数

競技者の数：8名（6名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対5として敗戦したものとみなす。

試合中、怪我等により、6名に満たなくなった場合は、その時点で試合を終了し、同様の敗戦とみなす。）

交代要員の数：12名以内

交代を行うことができる数：制限なし（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

④ ベンチ入りするチーム役員の数：2名以上3名以下（これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会により懲罰を科す。）なお、1名以上がJFA公認指導者ライセンス（D級コーチライセンス以上）を有すること。

試合中、選手への戦術的指示は、JFA公認指導者サッカーライセンス所持者のみが行える。

ベンチには、選手・役員以外は入れない。

⑤ 審判員

（1） 審判は3人制を採用する。第4審判員を1名をおく。

（2） 審判は帯同審判制を採用し、参加チームにおいては大会運営の協力を義務付ける。

（3） 審判は各チーム2名とする。

（1・2回戦は3級審判帯同を義務付けない。ラウンド64以降、各チーム1名は3級審判とする。）

（4） 審判は審判着を着用する。

（5） ラウンド64以降の試合について、主審は3級以上の資格を有すること。

（6） 審判証を本部へ提示すること。（写真の表示が無いものは無効とする。）

（7） 審判は担当する試合30分前から5分間の審判ミーティングを義務づける。

（8） 主審を行った者は、審判報告書の提出を行うこと。

（9） 宮古・八重山地区においては、審判の帯同を免除する。（大会本部にて割当を行う。）

⑥ テクニカルエリア

設置する。

⑦ 競技者の用具・ユニフォーム

（1） 本大会に登録した正・副２組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

（2） 正・副の2色については明確に異なる色とする。（通常、審判が着用する黒色、紺色などは認められない）

（3） ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっていても、本大会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。

（4） 選手番号は選手固有の登録番号をシャツの前面及び背面に付し、判別の明確な色彩及びサイズであること。また、台地に貼付けた番号についてはシャツにしっかりと縫りつけ、はがれないようにすること。

（5） 広告の入ったユニフォームの着用は認めない。しかし、所定の手続きを完了した物についてはその限りでない。又、各国代表レプリカユニホームを着用する場合も代表エンブレム（マーク）が入ってる場合も同じである。

（6） ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同色系でも良いものとする。（ただし、本項（1）によりゴールキーパーユニフォームとして登録されていること。）

（7） 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。

（8） 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

（9） ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

（10）アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

（11）アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

（12）試合後にペナルティーマークからのキックにより(以下PK戦)勝者を決定する場合のユニフォームは以下の通りとする。

《PK戦において：試合中のフィールドプレーヤーがゴールキーパーを行う場合》

ゴールキーパーとなる選手は、選手固有の番号を付けた、サブユニフォーム（試合で使用していないユニフォーム）の上着のみ着用して出場することができる。選手固有の番号を付けたゴールキーパーユニフォームを着用する場合においても、上着のみ着用して出場することができる。

《PK戦において：試合中のゴールキーパーがフィールドプレーヤーを行う場合》

ゴールキーパーユニフォームのまま出場することができる。（フィールドプレーヤーユニフォームを着用する必要はない）

（13）前半・後半試合開始時、シャツはショーツに中に入れることを指導すること。

（14）ベンチ入りしている交代要員は、フィールドでプレーしている色彩と異なるビブスやジャージ等を着用すること。

（15）ユニフォームへの広告表示については、JFAの規定に基づくものでなければならず、選手・役員登録時までにJFAの承認を受けている場合のみ認められる。（承認結果は、承認後、4種委員会へ提示すること。）

（16）ソックスについて、セパレート履きの場合はショートソックスはカーフソックスと同系色とする。

⑧ 試合時間

（1） 試合時間は40分（前後半各20分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）は原則5分間とする。

（2） 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

1回戦～準々決勝：ペナルティキック方式により次戦進出チームを決定する。

準決勝・決勝：10分間（前後半各5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティキック方式により次戦進出チームおよび優勝チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバルは原則5分間とする。

ペナルティキック方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。

⑨ 交代の手続き

（1） 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上で、どこからフィールドを離れてもよい。

（2） 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

（3） 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

（4） フィールドプレーヤーの交代は、審判員に承認を得る必要はない。

（5） ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、アウトオブプレー中に交代することができる。

⑩ 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、役員のうち、最大2名がフィールドへの入場を許可される。

⑪ マッチコーディネーションミーティング

準決勝、決勝では各試合60分前に、マッチコミッショナー、両チームの代表者、審判員による
マッチコーディネーションミーティングを行う。マッチコーディネーションミーティング時には、正・副のユニフォームを持参すること。
（写真にてユニフォームの色彩が明確に判別できる場合は代替できるものとする。）

⑫ グリーンカード

グリーンカードを推奨する。

⑬ セレモニー

試合前のセレモニーは、決勝戦のみ実施する。

⑭ アディショナルタイムの表示

アディショナルタイムの表示は、決勝戦のみ実施する。

⑮ 飲水

飲水タイムの有無を事前（前・後半開始前）に両チームへ審判より通告する。

17 懲罰規定

① 本大会はJFA「懲罰規定」に則り、大会規律・フェアプレー委員会を設ける。

② 大会規律・フェアプレー委員会の委員長は、4種委員会委員長とし、
委員は、4種委員会副委員長・審判部長、本大会運営責任者、会場運営主任とする。

③ 次の選手・役員は、次試合（1試合）を出場停止とする。

・同一試合で警告を2度受けた選手及び退場処分を受けた選手・役員。

・本大会累積警告が2枚の選手・役員。

④ レッドカードでの退場選手・役員に関して、次の1試合を自動的に出場停止とし、それ以降の処置については、
大会規律・フェアプレー委員会にて裁定する。
選手が退場を命じられた場合は、その選手のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

⑤ レッドカードでの退場選手は、退場の対象となった試合については、コート本部で待機する。

⑥ JFA諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律・フェアプレー委員会にて裁定する。

⑦ 全国大会と本大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会終了時点で退場による未消化の出場停止処分は、全国大会において順次消化する。

18 大会参加申込 ①「参加チーム」は所属地区4種委員へ、大会参加の意向を伝えること。（トップリーグ・1部リーグ参加チームを含む）
各地区4種委員は、「参加チーム」および「U-12リーグ順位」を取りまとめ後、速やかに、4種委員会事務局へ報告すること。
これにより、4種委員会事務局より、「参加チーム」へ選手登録依頼が行われる。
「参加チーム」は依頼を受けたのち、JFA WEB登録システム「KICKOFF」にて必要事項を入力の上、
参加申込手続き（選手・役員登録）を行うこととする。
なお、複数チームが参加する加盟チームにおいては、監督は兼務できないため、必ず他の役員のうち1名を監督とすること。
② 登録選手は最大20名、登録役員は最大10名とする。（登録役員はベンチ入りする可能性がある役員のみとし、
運営員、審判員は登録の必要はない。）
③ 登録選手は2026年9月30日までに、加盟チームへの新規登録・移籍登録が完了している選手であること。
④ 参加申込期限は、『大会期日』に記載の通りとする。
⑤ 参加申込後の選手・役員の変更、選手背番号の変更は原則認めない。
⑥ エントリー表は、「KICKOFF」での申込みにより、4種委員会にて作成・配布される。
参加チームは、配布されたエントリー表に必要事項を記載し、大会当日、受付において提出すること。
⑦ 参加選手は健康であり、且つ、保護者の同意を得ていること。

19 参加料 沖縄県大会　8,000円（宮古・八重山地区は本島での大会参加チームのみ）
各地区における参加チームが確定後、速やかに、協会指定振込用紙にて、地区で一括して振り込むこと。

20 表彰 ① 優勝、準優勝および3位、4位チームを表彰する。
② 優勝チーム及び選手は、JFA第50回全日本U-12サッカー選手権大会全国大会へ沖縄県代表として派遣推薦する。
沖縄県大会での登録選手数が20名に満たない場合は、加盟チーム内の選手から補充することができる。
③ ベスト4チームは、『おきぎんJカップ OFA第49回沖縄県ジュニア8人制サッカー（U-12）大会』のシード権を得る。

21 ベンチ ① ベンチ入りする役員は、試合に参加するすべての関係者（審判、選手、運営スタッフなど）にリスペクトを持つことを
義務付ける。指導者の言動により、関係者、観客が不快な感情を持つことのないよう、良識のある言動を義務づける。
② 自チームの選手であっても、1人の人格を持った人間であることを強く意識し、指導を行うこと。
上記が順守されていないと、審判、運営スタッフが判断した行為については、試合中に限らず、該当役員へ警告を行う。
また、その内容によっては、ベンチからの退席指示、フェアプレー委員会による懲罰検討の対象とする。
③ ベンチ入り役員が審判の判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声を浴びせる等のネガティブなコーチングを行い、
主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退場処分とし、
それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。
④ ウェルフェアオフィサー：サッカーを楽しむ大前提である安心・安全を守る担当者（＝ウェルフェアオフィサー）を配置する。
サッカーにおける暴力根絶を目指し、ベンチ入り役員と試合の講評の伝達、意見交換等を行う。

22 その他 ① 荒天時（強風,大雨,雷雨等）により試合続行が不可能と判断された際は、試合を停止し、天候が回復次第、
残り時間を再開する。詳細は、項目⑨、⑩に規定する。
（試合開始前は大会本部にて、開始後は主審の判断にて決定する。）
② ケガについては各チームにて応急処置を行う。
③ 大会中におけるケガや賠償金が発生する損害については、当事者で解決すること。
④ 使用する施設・設備を大切にし、マナーを厳守すること。
⑤ 貴重品の管理・ゴミの持ち帰りは、各チームの責任で行うこと。
⑥ 飲水タイムについては、大会当日の天候により主審の判断にて行う。
⑦ 試合会場では他競技も実施されるため、駐車場が非常に混み合うが、一般道での路上駐車、一時駐車は厳禁とする。
また、マイクロバス等の大型車両で来場するチームは各々で駐車場を確保すること。
選手・役員の車からの乗降、荷物の上げ下ろしなどは、駐車場内で行うよう徹底すること。
⑧ 大会参加チームは、大会期間中、4種委員会および4種委員会が許可した団体により撮影された動画・画像は
4種委員会の広報活動において使用・販売されることを許諾したものと見なす。

⑨ 落雷に関して、試合開始・試合実施が困難な場合の取り決めは、下記の通りとする。

（1） 試合開始前

（a） 試合開始時において、雷の発生（予報）により、試合成立が困難と判断した場合には、試合を開始せずに、60分間天候状況を確認する。

（b） 60分間天候状況を確認して、なお、状況が変わらない場合においては、大会本部（会場責任者）が中止を決定する。

（c） どうしても当日中に勝敗を決定しなければいけない場合には、大会本部にて抽選で勝敗を決定する。

（2） 試合中

（a） 審判が雷の発生により、試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止する。

（b） 大会本部（会場責任者）が雷の発生により、試合続行が困難と判断した場合には、試合を停止するよう審判に勧告するものとする。

（c） 再開の目処として、雷が完全に鳴り止んでから30分間状況を確認する。30分間経過後も雷が鳴り止まない場合には大会本部（会場責任者）にて「更に中断を続行するか？」、「大会を中止するか？」について判断を行う。

（d） 中断の時間は最長60分間を限度とする。60分経過後に試合再開が不可能な場合は試合中止とし再試合を行う。ただし、試合の3/4が経過している場合（※1）、試合成立とし、再試合は行わない。
再試合の実施は、次の基準に従う。

（ｉ）中止試合の前半が終了していない：
中止試合の状況(時間・得点)は引き継がず、前半開始からの再試合とする。

（ii）中止試合の前半は終了し、3/4が終了していない：
中止試合の状況(時間・得点)を引継ぎ、中止時点からの再試合とする。

（iii）中止試合の3/4が終了しており試合は成立しているが、同点の場合：
次試合に進出するチームを決定する、または順位を決定する必要がある場合、大会本部において抽選で勝敗を決定する。

※1　20分ハーフの試合の場合、後半10分を経過している場合、試合成立とする。

（e） （d）の状況において、どうしても当日中に勝敗を決定しなければならず、再試合が不可の場合、中断した時点での状況および得点にて勝敗を決定する。

（ｉ）中止試合の3/4が終了していない：
試合は不成立とし、大会本部において抽選で勝敗を決定する。

（ii）中止試合の3/4が終了している、かつ同点である：
試合は成立とし、大会本部において抽選で勝敗を決定する。

（f） （a）～（e）に記載内容の補完のために、別紙「落雷等、試合続行不可時における、再試合・勝者決定方法整理」を設定し、これに従うものとする。

⑩ その他何らかの要因によって、試合開始及び試合続行が困難な場合の取り決めは、下記の通りとする。

（1） ⑨の「落雷に関して」に準ずる。

（2） 但し、「生命に危険性がない」と判断される場合においては、大会本部（会場責任者）の判断にて柔軟な対応を行う。対応に関して、参加チームからの異議は受け付けない。